



堺市社会福祉事業団だより

Vol.59

障害児通所支援事業所交流会を行いました ほか・・・・・・・・・1
堺市立健康福祉プラザNEWS 堺じゅさんフェスタ ほか・・・・・・2
事業団NEWS1 運動会・日曜参観・近隣の保育園との交流 ほか・・・・・・3
事業団NEWS2 五園さくらの会との懇談会 ほか・・・・・・・・・4

令和7年(2025年)3月
発行：社会福祉法人
堺市社会福祉事業団
TEL：072-294-7943
FAX：072-298-0216

障害児通所支援事業所交流会を行いました

児童発達支援センターでは毎年地域の障害児通所支援事業所の方と交流会を行っています。

今年度は、2月25日(火)につぼみ園の見学会、3月6日(木)に交流会を行いました。

見学会には30名の方に参加していただき、児童発達支援センターの役割や並行通園の療育の紹介、つぼみ園見学を行いました。交流会には32名の方に参加していただき、前半はつぼみ園の作業療法士から『感じ方の違いの理解と支援』をテーマにこどもたちの気になる行動を感覚統合の視点から体験も交えな

がら話しました。後半は、グループに分かれて交流を行いました。それぞれの事業所の状況などを交流しました。今後こうした事業所ともつながりを持ち、共にこどもへの支援を考えていきたいと思ひます。



障害児相談支援事業所交流会「みのりの会」

堺市の障害児相談支援事業所交流会「みのりの会」は、こどもの相談支援のことで、困りごとを語り合い学び合う場として始まり、9年目になります。これまでは、有志による世話人で運営していましたが、今年度から堺市社会福祉事業団が事務局としてサポートしています。

相談支援員が知りたい情報を組み込んだ研修会や交流会を企画しました。研修会では、堺市教育委員会の平山先生をお招きし就学相談についてご講義をいただきました。68名の参加がありました。グループ交流会では、活発な情報交換や意見交換ができた

した。今後も、相談支援員が、気軽に相談でき交流・情報交換ができる会にしていきたいと思ひます。



◆つぼみ園・もず園で児童発達支援センター・もず診療所・つぼみ診療所の利用および発達や療育の相談を受け付けています。

相談・申込窓口のご案内

つぼみ園
もず園

TEL.072-299-2031
TEL.072-279-0500

FAX.072-299-2100
FAX.072-270-2126

「堺じゅさんフェスタ」で笑顔いっぱい交流の輪

令和7年2月1日（土）、堺市立健康福祉プラザで「堺じゅさんフェスタ」を開催。障害のある方々の障害福祉サービス事業所での日々の活動紹介や授産製品の展示・販売を通して障害理解の促進、障害のある方とない方との交流や相互理解の推進、授産製品の認知度向上等を目的として開催しています。健康福祉プラザでは初開催となった今回、「じゅさんフェスタ」にちなんで「じゅうにさんか！ふれあい・えがお・すてきなたいけん！」をコンセプトに様々な企画を実施し、会場にいる全員が笑顔の一日となることをめざしました。



メイン企画は、障害福祉サービス事業所ネットワークによる授産製品の展示販売ブースです。来場者や関係者の皆様が、焼き菓子や雑貨などの授産製品を手



に取り、会話と買い物を楽しんでいました。事業所のキッチンカーや屋台では、温かい食べ物で多くの方々が笑顔になりました。

た。全7区のネットワークが一堂に会するのは初めてのことで、各事業所間で製品の紹介や情報交換が行われ、交流が生まれました。さらに、プラザのイベントに初めて堺市立百舌鳥支援学校の生徒さんに有志で参加していただき、各ブースのお手伝いなど体験活動をしていただきました。

午前、午後と行われたステージでは「まるたせんせ」による参加型のマジックやクイズ、歌のパフォーマンスが行われ、会場は大いに盛り上がり、午後には初芝立命館高等学校ダンス部のパフォーマンスも披露され、アンコールの大合唱が起こりました。

「堺じゅさんフェスタ」は、授産活動に関する広報・啓発はもとより、事業所同士や利用者同士、障害のある方もない方も交流し、相互理解が深まり連携が生まれる場となりました。今後も多くの方が参加し、笑顔の輪が広がるイベントにしていきますので、ご協力ください。



令和7年新春交流会

生活リハビリテーションセンターでは、毎年1月に現利用者と利用を終了された当事者と家族の方々との交流の場として新春交流会を開催しています。新春交流会では、懇談会やレクリエーションの他に恒例の餅つきを行っていましたが、コロナ禍以降は感染症対策として餅つきは休止していました。

今年は5年ぶりに餅つきを行い、当事者や家族を合わせて44名の参加がありました。実際に杵と臼を使っての餅つきは初めての方も多く、「杵の重さに驚きました。」「体力がいりますね。」「二人でリズムを合わせるのが難しい。」などの感想を言い合いながら楽しまれていました。また、家族からは「麻痺がある

のにしっかり杵を持っているのに驚きました。」「笑っているのを見るとこちらもうれしくなる。」などの感想をいただきました。



久しぶりの餅つきも含めて楽しい交流会の1日となり、当事者や家族のたくさんの笑顔を見られたことで「日常」がやっと戻ってきたことを実感できた機会となりました。

これからも当事者や家族に喜んでいただける活動を続けていきたいと思ひます。

運動会

10月6日(日)にもず園・つぼみ園で運動会が開催されました。

晴天にも恵まれ、多くのご家族の方々にも来園いただきました。

家族の方の温かい声援やたくさんの拍手に、こどもたちも緊張したり嬉しそうな笑顔をみせたり自信の表情をみせてくれました。



日曜参観

12月9日(日)に、もず園・つぼみ園で日曜参観が行われました。

午前中は、ご家族の方と一緒に保育に参加していただき、お料理のごっこあそびや運動会ごっこ、家族の方とお相撲をとったりクラスごとで楽しく過ごしました。午後は、保護者学習会を行いました。防災士として活動されている田原佳織先生、田中知子先生をそれぞれ講師にお招きし、「今日からできる防災講座」をテーマに実際に防災グッズも見せていただきながらご講演いただきました。

たくさんのご家族の方に参加していただき、こどもたちの笑顔もたくさんみられました。



近隣の保育園との交流

児童発達支援センターでは、地域のこども園との交流を定期的に実施しています。もず園は大仙保育園、つぼみ園は、城山台こども園の年長児さんと交流しています。

保育園のお友だちが歌や踊りを披露してくれたり、各クラスの遊びにも参加してもらって一緒に楽しく遊びました。

プレゼントを交換しあい、こども園の園児たちから素敵なメッセージもいただきました。



ぺんぎんクラスの紹介

児童発達支援センターには、毎日通うクラスの他に週1日親子で通うぺんぎんクラスがあります。2・3歳児の低年齢児を対象とし、親子で安心してさまざまなあそびを経験し、お子さんと保護者の方との信頼関係を深めていくことを大切にしています。親子保育の中でお子さんの発達状況や必要な支援方法を担当職員と確認しています。また、保護者同士、悩みをお話できる場となるよう保護者のつながりも大切にしています。

ぺんぎんクラスを利用された保護者の声

- ・ 集団の姿をみれる貴重な場所となりました
- ・ こどもだけでなく保護者もあそびに参加したり、他の保護者と話ができ楽しかったです
- ・ 家では、きょうだいがいるとこの子と向き合う時間が少なく、ここに来ることですっかり向き合う貴重な時間となりました。こどもも楽しそうでした。



五園さくらの会（もず園・つぼみ園保護者の会）との懇談会を開催

1月23日に南こどもリハビリテーションセンターで五園さくらの会と堺市および堺市社会福祉事業団との定例懇談会を行いました。保護者からいただいた「堺市社会福祉事業団による安定した運営の継続」「安定した療育環境を整えるための正規職員、リハビリスタッフの増員」「通園バスの安全かつ負担の少ない送迎」「つぼみ園の老朽等に伴う設備改修」等の要望について回答と意見交換を行いました。保護者の皆様の要望を受け止めながら、安全・安心な質の高い療育を提供していきたいと考えています。



訪問支援員の交流会を開催

10月17日（木）に保育所等訪問支援事業所の交流会を行いました。

初めての交流会で、14事業所33名の訪問員の方に参加していただき、事業所の取り組みを紹介し合ったり、疑問や悩みなどを交流しました。

参加者からは「交流する機会がほしいと思っていたのでうれしかったです」「こんなにたくさんの訪問員がいると知れて心強かったです」と感想をいただきました。また、今後については「ケース検討したい」「保育所等訪問支援について周知されていないこともあり難しさを感じる」といった声もあり、今後もこうした交流会を企画していきたいと思っています。



職員研修

児童発達支援センターでは、障害児支援に携わる職員として必要な専門知識や技術だけでなく、人権研修や権利擁護等の法令遵守も含めた研修を計画的に実施しています。1月9日は、堺市教育センターの瀧口先生をお招きし、『性暴力を許さないために 子どもたちを守るために』をテーマにご講義をいただきました。現在起こっている性問題や問題が起きた時に相談できる機関や対応などを紹介していただき深い学びになりました。



編／集／後／記

こどもリハビリテーションセンターでは、児童福祉法改正を踏まえ地域の関係機関との連携に取り組みました。まずはセンターの事を知っていただくために見学会を企画したり、意見交流会を行い、顔がみえる関係作りを大切にしました。今後もセンターの役割を発揮しながら取り組んでいきたいと考えています。

（療育の窓 おおぞら 所長）

社会福祉法人 堺市社会福祉事業団

堺市立南こどもリハビリテーションセンター
つぼみ園 TEL 072-299-2031
FAX 072-299-2100
つぼみ診療所 TEL 072-294-7941
相談支援室 つぼみ TEL 072-294-7944
事業団事務局（南リハ内）TEL 072-294-7942
FAX 072-298-2032

堺市立北こどもリハビリテーションセンター
もず園 TEL 072-279-0500
FAX 072-270-2126
もず診療所 TEL 072-279-3768
相談支援室 もず TEL 072-279-3668

堺市立健康福祉プラザ
市民交流センター TEL 072-275-5017
FAX 072-243-0330
授産活動支援センター TEL 072-275-5018
FAX 072-243-0330
生活リハビリテーションセンター TEL 072-275-5019
FAX 072-243-0202

堺市立健康福祉プラザは『社会福祉法人堺市社会福祉事業団』『特定非営利活動法人堺障害者団体連合会』『公益財団法人フィットネス21事業団』の共同事業体が、指定管理者となって管理・運営を行っています。